

令和4年第4回定例市議会

教 育 行 政 報 告

恵庭市教育委員会

第4回定例会が開催されるに当たりまして、第3回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

子どもたちの体験活動について

はじめに、子どもたちの体験活動について申し上げます。
子どもたちがさまざまな体験活動を通して興味・関心を持ち、夢を育むことを目的に、えにわ子ども塾事業として、10月2日に島松沢の北清の森において「ふるさと再発見もりもり探検隊」、10月16日に北海道文教大学において「えにわ大好き！食の体験ランド」を開催し、多くの参加者により好評を得たところであります。

市民文化祭について

次に、市民文化祭について申し上げます。
10月から11月にかけて、市民による実行委員会主催により、市内の文化団体やサークル等が日頃の活動成果を発表し、文化芸術活動の推進を図ることを目的とする市民文化祭が3年振りに開催されました。市民会館、島松公民館、夢創館などを会場に、書道、華道、絵画などの展示発表及び詩吟、民謡、舞踊などの舞台発表が行われ、多くの市民で賑わったところであります。

文化功労者・青少年表彰について

次に、文化功労者・青少年表彰について申し上げます。
本年度の表彰につきましては、11月2日に市民会館においてスポーツ功労者も含めた合同表彰式を実施し、文化功労者に3個人、青少年表彰に2団体、2個人の方々を顕彰させていただきました。

青少年健全育成事業について

次に、青少年健全育成事業について申し上げます。
11月の秋の恵庭市青少年育成強調月間に、恵庭市青少年育成市民の会では、市民啓発のチラシを配布するとともに、11月19日に市民会館において「恵庭市青少年育成市民のつどい」を開催いたしました。

姉妹都市でありますニュージーランド ティマル市へ本年度派遣を予定している中学生と高校生の決意表明や加盟団体等によるアトラクション及び活動発表等を行い、若者たちの意見や考えに耳を傾け理解を深め、地域における青少年育成活動の一層の推進を図ったところであります。

読書活動の推進について

次に、読書活動の推進について申し上げます。

10月の「人とまちを育む読書推進月間」では、8日に図書館まつり、22日に恵庭出身の作家、高杉(たかすぎ)六花(りっか)さんの講演会を開催いたしました。図書館まつりでは、図書館ボランティアによるステージや謎解き図書館などのイベントが行われ、3年振りの開催とあって多くの子どもたちや保護者で賑わいました。

また、「第13回恵庭市小中学生調べる学習コンクール」には、市内の児童生徒から348点の応募があり、11月6日に表彰式を行ったところであります。

郷土資料館事業について

次に、郷土資料館事業について申し上げます。

郷土資料館では、10月8日から「恵庭の歴史(あゆみ)」と題し、開基100年記念事業で紹介された明治から昭和45年までの写真を2回に分けて展示しております。

また、11月3日から11月20日までは企画展「恵庭消防創立100周年1年前記念展」を開催し、大正12年に公設された恵庭消防の歩みを紹介しております。

次にアイヌ文化を保存・継承・振興し、アイヌ民族の歴史や文化の理解を深めていただく事業として、市内の中学生6名の参加による第5回「アイヌ文化マスター育成事業」を10月15日、16日に、新ひだか町及び平取町において、現地学芸員の案内による「アイヌ語地名の旅」や木彫りのコースター製作などの体験学習を行いました。

次に、埋蔵文化財関連事業について申し上げます。

埋蔵文化財の保護と史跡整備への理解を深めていただく事業として、本年3月に「新 恵庭市史」が刊行されたことを記念し、考古編執筆陣3名による講演、第9回「カリンバ講演会」を10月23日に開催し、48名の方に参加していただきました。

今後も、引き続き、各種啓発・普及事業を推進して参ります。

以上、第3回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため一層の努力を重ねてまいりますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げます。